

届出の受理番号：

サンプル（日本語訳） 使用不可

様式 C1/2

最終更新:2005.3.23

注意) この証明書は、様式A及びCからなる。各書類は、輸出国の政府機関の公印が押された時点から効力を発する。

C-1. 獣医の証明

1. 狂犬病予防接種（OIEの基準に従い製造された不活化ワクチン）

注意) 接種時には、A-4に記載されている犬または猫のマイクロチップを読みとり番号を確認すること。

《 狂犬病の血清検査のための採血の前に接種した狂犬病予防注射2回の履歴 》

| | 前々回※2 (生後91日目以上であること) | 前回※2 (前々回の予防注射から 30日以上経過していること) | 追加接種 (血清検査の後に接種した場合) |
|----------------------------|--------------------------|---------------------------------------|-------------------------|
| 接種年月日 (年/月/日) | | | |
| 有効免疫期限 (年/月/日) ※1 | | | |
| 予防注射の製品名 /製造会社 /製造番号 | | | |
| 接種獣医師名 及び住所 | | | |

2. 狂犬病血清検査

注意) 採血時には、A-4に記載されている犬または猫のマイクロチップを読みとり番号を確認すること。
指定検査施設による血清検査の結果書を必ず添付すること※2

| | |
|-------------------------------------|--|
| 採血年月日 (年/月/日) | |
| 採血を実施または監督した 獣医師名及び住所 | |
| 日本政府に指定されている 検査施設名 | |
| 血清検査の結果(IU/ml) (0.5IU/ml以上であること) | |

※1 製造会社の説明書にある予防注射の有効免疫期間をもとに算出した期限

※2 これらの項目について証明する代わりに、日本国農林水産省の動物検疫所の家畜防疫官により発行された証明書を添付してもよい。

公印

日付

届出の受理番号：

サンプル（日本語訳） 使用不可

Form C2/2

最終更新:2005.3.23

注意) この証明書は、様式A及びCからなる。各書類は、輸出国の政府機関の公印が押された時点から押された時点から効力を発する。

3. 臨床検査：輸出直前に実施すること（可能であれば48時間以内）

私、_____ 獣医師は、下記に記載する内容に間違いがないことを証明します。

- ・ 本日、A-4に記載されている動物に、A-4(7)に記載された番号のマイクロチップが埋め込まれていることを確認した。
- ・ A-4に記載されている動物は、この証明書が署名された時点において、狂犬病に罹患しているいかなる徴候も認められなかった。
- ・ A-4に記載されている犬は、この証明書が署名された時点において、レプトスピラ症に罹患しているいかなる徴候も認められなかった。

獣医師住所 _____

証明年月日(年/月/日) _____

署名 _____

4. その他有益な予防・駆除に関する情報

(到着後に動物検疫所の施設で係留検査を行う動物は必須)

| | 予防注射 (狂犬病以外) | 内部寄生虫駆除 | 外部寄生虫駆除 |
|------------------------|-----------------|---------|---------|
| 接種年月日または投薬日 (年/月/日) | | | |
| 有効免疫期限 ※1 (年/月/日) | | / | / |
| 予防注射の種類 または有効成分 | | | |
| 処置獣医師名及び住所 | | | |

※1 製造会社の説明書にある予防注射の有効免疫期間をもとに算出した期限

C-2. 輸出国政府の獣医官による裏書き

私、_____ は輸出国政府の獣医官であり、政府機関の公印を押したA及びCの書類に記載された事項について、事実と相違ないことを証明します。

役職名 _____

国名 _____

所属機関名及び住所 _____

署名 _____

公印

日付